第6学年「わたしたちの『未来』について討論しよう」単元構想図

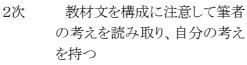
課題を持つ

教材名から、自分 の考えを持つ。 百年前の様子や自分 たちの未来について 話し合う。 既習の説明文に おける学習の仕方 を振り返る。

1次 単元の計画を立てる

- ・ 初発の感想から、学習計画について話し合う。
- 全文を読み、教材文の構成をとらえる。
- ・ 自分の未来予測をパネルディスカッションで友だちと討論し合うという相 手意識・目的意識を持つ。

確かに読み取る



- ・「はじめ」の部分と未来予測の項目を読 み取る。
- ・未来予測の内容を読み取る。
- 「終わり」の部分から筆者の考えを読み 取り、自分の考えを持つ。

小学校学習指導要領解説

第5学年および第6学年「C 読むこと」

- ① 目標:目的に応じ、内容や要旨を 把握しながら読むことができるよう にするとともに、読書を通して考え を広げたり深めたりしようとする態 度を育てる。②内容:アイエオ
- ② 言語活動:自分の課題を解決する ために図鑑や事典などを活用して 必要な情報を読むこと

読み取ったことを生かす

3次 パネルディスカッションを行い、自分 の考えを伝え合う

- ・自分の未来予測を説明するために、必要な 資料を探して読む。
- ・予測と根拠を明らかにしながら、討論会の原稿を書く。
- 分野別にパネルディスカッションを行う。
- パネルディスカッションを振り返り、感想を伝 え合う。
- 学習のまとめをする。

パネルディスカッションにおけるポイント

- 目的意識
- 相手意識
- 論の組み立て方(根拠、具体例など)
- 話し方
- 聞き方
- 計論への参加

1. 単元名 わたしたちの「未来」について討論しよう 中核教材 「百年前の未来予測」

2. 単元について

本学級の児童(男子5名、女子11名、計16名)は、今年度、説明文「イースター島にはなぜ森林がないのか」「言葉の意味を追って」の学習を行ってきた。文章構成を捉えたり、文末表現や接続詞などに気をつけて文章を読んだりすることによって、段落・文のつながり、筆者の考えを的確に読み取ることもできるようになってきている。また、自分の考えなどを友達の前で話すことに対しては自信が持てず、消極的になりがちな面も見られたが、ペア学習などを通して徐々に表現への意欲も高まり、積極的に話し合う姿が見られるようになってきた。

本単元の教材文「百年前の未来予測」は、新聞記事の紹介という事実の叙述の中に、筆者の意見、想像などが表現されたものである。そして、未来予測の活動に対する児童の興味・関心を高めると同時に、筆者の主張や問題提起が明確に記述されており、現在の社会事象を多様な視点で見つめ直すことにも結びつくものであると言える。また、自分たちで未来について考え討論する学習に向け、根拠に基づいた予測であるために驚くほどの確率で当たっていることなど、未来予測のために忘れてはならない重要なポイントを示唆する役割を果たすものである。また、本単元では、討論の方法としてパネルディスカッションを設定する。パネルディスカッションは児童にとって初めて経験する討論の形態であり、調査、発表、質疑応答などの活動を通して、児童が多様な視点や考え方を出し合い、自らの考えを深めていくことが期待されるものである。

指導にあたっては、自分の考えた未来予測をパネルディスカッションで討論することを伝え、学習への見通しと意欲を高めていきたい。教材文を読み進める際には、「予測」「現在」「当時(このとき、そのとき)」などの言葉を手がかりに、未来予測について説明されていることを読み取ったり、書き出しの接続語や文末表現を手がかりに、筆者の考えを読み取ったりできるようにしていきたい。そして、多様な見方で物事を捉え、根拠をもとに自分の考えを持つ活動をふまえて、話の組み立てなどに注意して説得力ある話し方で伝えられるようにしたい。友達の考えを聞く際には、メモを取りながら聞く、自分の考えと比較しながら聞く、質問を考えながら聞くなどのことができるようにしていきたい。また、本実践を通して本校児童の目指す姿に迫るために、以下の場の設定に心がけたい。

【かかわり合い】

児童一人一人が自らの考えを交流したり、意見を交わすことによって考えを深めたりできるようにペア 学習や小グループでの学習場面を効果的に設定する。また、かかわり合いに対する意欲が高まるよう に、積極的に意見を発表する姿をほめる。

【自己を拓く】

学習に対する自己評価を通して学習による発見や自らの成長を意識付けるようにするとともに、よりよい未来への展望を持つことができるようにする。

【豊かな表現】

自らの表現活動に生かせるよう、速度や声量などに気をつけて音読できるようにする。また、根拠をも とに自分の考えを書いたり、説得力のある話し方でわかりやすく話したりすることができるようにする。

3. 単元目標

○文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」についての自分の考えを持って討論会をする。

4. 単元の評価規準

ア 国語への関心	イ 話す・聞く能力	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語について
·意欲·態度				の知識・理解・技能
① 未来の生活に	① 考えや内容が	① 調べたことをも	① 事実と感想・意	① 接続語や指示
ついて興味を持	わかるよう工夫し	とに、自分の考	見との関係に注	語、文末表現に
ち、考えたり討	て、適切な言葉	えを発表原稿に	意しながら、要	注意して、文章
論したりしようと	遣いで話してい	まとめている。	旨や筆者の考え	構成や筆者の考
している。	る。		を読み取ってい	えに気づいてい
	② 話し手の意図		る。	る。
	を考えながら話		② 考えを広げ、深	
	を聞いている。		めるため、必要	
	③ 討論の形式や		な図書資料など	
	方法を知り、自		を選んで読んで	
	分の立場を明ら		いる。	
	かにして、計画			
	的に話し合って			
	いる。			

5. 指導と評価の計画(全12時間)

時間	学習活動	評 価 規 準	方 法
第一次(2)	 単元の計画を立てる ○ 教材文を読んで単元の課題をつかみ、学習の見通しを持つ。 ・ 基本的な文章構成や用語、説明文の学習の仕方をふり返る。 ・ 教材名から自分の考えを持つ。 ・ 自分たちの未来について想像したことを話し合う。 ・ 新出漢字の学習をする。 ○ 初発の感想を書き、学習計画を話し合う。 ・ 教材文の構成をとらえ、初発の感想を書く。 ・ 教材文の内容を大まかにつかみ、学習の目的意識を持つ。 ・ 学習計画を立てる。 	ア国語への関心・意欲・態度 ①未来予測やパネルディスカッションに 興味を持ち意欲的に学習に取り組も うとしている。 エ読む能力 ① 文章の大まかな構成をとらえてい る。 オ 言語事項 ① 接続語や指示語、文末表現などか ら、段落の関係や文章構成に気づい ている。	ノート発言音読

-		教材文を構成に注意して筆者の考えを	工読む能力	ノート
		読み取り、自分の考えを持つ。	①未来予測の項目・現在の様子・当時	発言
		○「はじめ」の部分と、未来予測の項目	の様子を見つけながら読んでいる。	話し合い
		を読み取る。		
		○ 未来予測について、その内容を項	① 書き出しの接続語や文末表現など	
		目ごとに読み取る。	を手がかりに、筆者の考えを読み取	
		②一⑦段落の内容を読み取る。	っている。	
		・ 各項目についての未来予測をする		
	Laka	0	才言語事項	
	第二次(4)	○ 未来予測の内容と、未来予測が的	①接続語や指示語、文末表現を意識し	
	次(中した理由を読み取る。	て、文章構成に気づいている。	
	4	・ ⑧一⑩段落の内容を読み取る。		
		・ 各項目について未来予測をする。		
		○「終わり」の部分から、筆者の考えを		
		読み取り、自分の考えを持つ。		
		(本時 4/4)		

パネルディスカッションを行い、自分の 考えを伝え合う

- 自分たちで未来予測する分野を話 し合って決める。
- 関心のある分野を選び、それにつ いて調べる。(2時間)
- 未来予測の原稿を書き、パネルディ スカッションでの役割を決める。
- ○それぞれの分野別にパネルディスカ ッションを行う。
- ○討論を振り返り、感想を話し合い、自 分の未来予測のまとめをする。

ア国語への関心・意欲・態度

① 選んだ分野について進んで資料を 調べ、自分の考えをまとめようとして いる。

ノート 発表原稿 パネルディス カッション ワークシート

イ話す・聞く能力

- ○資料をもとに、根拠を明確にしながら ① 自分の考えが的確に伝わるよう、適 切な言葉で話している。
 - ① 利点と問題点の両面を取り上げなが ら、自分の考えを話している。
 - ② 必要なことはメモをとったり、話し手 の主張したいことは何かを考えたりし ながら、聞いている。
 - ③パネルディスカッションの方法を理解 し、自分の立場をはっきりさせて討論 に参加している。

ウ書く能力

- ① 書く必要のある事柄を整理している
- ① 考えを明確に表現するための組み 立ての効果を考えて、発表原稿を書 いている。

工読む能力

② 必要な図書資料などを選んで読ん でいる。

次 $\widehat{6}$

6. 本時の学習

(1)ねらい

結論の部分から筆者の考えを読み取り、自分の考えを持つ。

(2)評価規準

工読む能力

① 3つの段落の構成(科学技術の進歩の利点、問題点、問題提起)をとらえ、筆者の考えを読み取る。

才言語事項

- ①接続詞「しかし」から、①②段落の関係をとらえたり、文末表現「~なりません。」「~のです。」 を手がかりに、筆者の述べたいことを読み取ったりする。
- (3) 準備 プロジェクター、パソコン、スクリーン

(4)学習過程

学 習 活 動	支 援 と 評 価
1. 前時までの学習を振り返り、	○ 前時までの学習を想起させ、本時の学習への意欲を高め
本時の学習への見通しを持	る。
つ。	
2. 本時の学習課題を確認する。	○「終わり」(結論)のまとまりから筆者の考え読み取り、それを もとに未来についての自分の考えをまとめることを伝える。
■ 筆者の考えを読み 取	なり、未来についての自分の考えを伝え合おう。
3. ⑪~⑬(P.61,L.4~P62,L.15) を音読する。	○ 音読への意欲を肯定的に評価し、意欲と自信を高める。○ 読み取りのポイントになる文や表現を探しながら読むように 指示する。
4. ⑪〜⑬段落それぞれに小見出しをつけ、段落の構成をとらえる。	○ 各段落の大事な文や言葉を探して傍線を引くように指示する。①科学技術の進歩による利点②科学技術の進歩による問題点③筆者の問いかけ(問題提起)
	○ 各段落の役割について考えさせ、パネルディスカッションへの活動のつながりを意識させる。○ 考えが持てない児童には、接続語や文末表現、繰り返し出てくる言葉などに着目して考えればよいことを助言する。
	⑪「さらに」「そして」 ⑫「しかし」「例えば」「問題」 ⑬「〜でしょうか。」「考えてみましょう。」 【エ、オ 発言】

考え、それをもとに自分の考 えをまとめ、伝え合う。

【か】【拓】

- 5. 筆者が読者に訴えたいことを 「終わり」(結論)のまとまりから、筆者が訴えたいこと を考え、ノートに箇条書きでまとめるよう指示する。
 - ○「問いかけ」の文末表現の背後には、読者に訴えた いこと、すなわち「筆者の願い」が隠れていることを押さ える。

(3)わたしたちは、どんな未来を生きていくのでしょうか。 わたしたちはどんな生活をしているのでしょうか。

こういう未来を生きてほしい。こういう生活をしていてほしい。

- 文末表現(「~なくてはならない。」「~のです。」)に気をつ けて考えるよう助言する。
- 自分の考えをノートにまとめる際にも、文章でなく、内 容ごとに簡条書きでまとめるようにさせる。
- ノートにまとめたことをペアで話し合わせた後、全体 で話し合う。
- ペア学習や全体での話し合いで出された友達の考 えの中で、自分が納得したものなどをノートに書き足 すように指示する。
- 考えや発表の仕方がより良いものになるように、ペア 学習や全体での話し合いの際には、何度も繰り返し 話すように指示する。

【ノートの例】 <筆者の考え、願い>

- ・科学技術の進歩によって生活が便利になる一方、そのことによって問題 が起こることも理解しておかなければならない。
- ・便利さを追求するだけでなく、自然環境の保護などにも配慮して、より豊 かな未来を築いていってほしい。

<自分の考え>

- ・より良い未来を築くために、自分のことだけでなく、地球全体のことを考 えて行かなくてはならない。
- ・環境を守っていくために、資源を大切にしたい。
- ・未来では、より安全で、安心できる社会になっていてほしい。

【エ、オノート、話し合い、発言】

- を書く。 【拓】
- 6. 本時の学習を振り返り、まとめ 本時のめあてについての反省や今日の学習の感想などを ノートに書かせ、学習の成果を味わわせる。
- 7. 次時の学習について知る。
- 次時は、パネルディスカッションのテーマについて考 えることを伝え、学習活動への見通しを持たせる。

説明文教材における単元目標と言語事項の系統表 ・ 第6学年 ・ 1月

単元名・教材名	日標と言語争項の糸統衣 ・ 弟の子年 ・ 1月 □ わたしたちの「未来」について討論しよう 「百年前の未来予想」			
1 20 1 37(1) 1	◆文章に紹介されている内容から、筆者の考えを読み取ろう。			
	◆文章を読んで考えたことをもとに、討論会をしよう。			
接続詞等	使われている文型・話形	文章構成に関すること	読みを深めるキーワード	
・例えば	【文末表現を中心に】)	○数詞	
・しかし	(推測)	話題提示①	○数詞につながる言葉	
・やがて	・おそらく~と思われる		・たったの	
・さらに	・~のでしょう。	百年前の未来予測記	○予測の正確さを際だた	
・いったい、どうやって	・もしかしたら~かもしれません。	事の紹介	せる表現	
・すでに	・~といえるでしょう。	2~10	・~そのもの	
・そして	(必然・筆者の主張)	23	・たったの	
・そのため	・ただ~しかありません。	「無線電信	・文字どおり	
・ところで	・~しておかなくてはなりません。	および電話」	・~そのまま	
・また	・~のです。	④ 「遠距離の写真」		
	(打ち消し・部分否定)	⑤「自動車の世」		
	・~さえ~ない	67		
	・~わけではありませんが	「鉄道の速力」		
	・すべて~とは言い切れません。	⑧その他の予測		
	(疑問)	⑨予測が的中した		
	・~のでしょうか。	理由		
		⑩予測に含まれる		
		問題		
		<u> </u>		
		筆者の意見 ①②		
		問題提起 13		

「百年前の未来予測」関連図書一覧

日午前の木米予測」 関連図f 書名	出版社	日野上	町立
日本の生活100年の記録 1. 住まいとくらしの100年 4. 社会生活の100年 5. 乗り物と交通の100年 6. 産業の100年	ポプラ社		0
写真でみる20世紀の日本 2. 科学技術の100年 4. のりものと交通の100年	PHP研究所		0
社会科はじめて大百科 2. 町のなか 4. 情報をつたえる 5. のりものと交通	ポプラ社		0
ゾクゾクモノの歴史事典 2. すむの巻 8. のるの巻 9. みる・よむの巻 10. きくの巻	ゆまに書房		0
日本の歴史 明治維新から現代(全8巻)	ポプラ社		0
図解 むかしのくらし(全7巻)	学研		0
総合百科事典ポプラディア 12. 学習資料集	ポプラ社	0	0
ジュニア地図 こども日本の旅	平凡社		0
新図解 わたしたちの日本地理 日本の国土	学研		0
日本の地理 朝日ジュニアブック	朝日新聞社		0
調べよう グラフでみる日本の産業これまでとこれから 7. 運輸と自動車工業 8. 商業と通信 10. 環境産業と医療・福祉	小峰書店		0
社会科事典(全10巻)	国土社		0
マンガとイラストでわかる 子どものためのエネルギーブック	PHP研究所		0
日本の子どもたちが地球を救う50の方法	ブロンズ新社		0
21世紀の子どもたちが地球を救う50の方法	ブロンズ新社		0
100年後の地球	エネルギーフォーラム		0
砂漠化する地球の診断	小峰書店		0
おとうさんと行く地球大冒険 4. 未来の地球へ出発	岩波書店		0
ジュニア版日本海読本 日本海から人類の未来へ	角川書店		0
世界の半分が飢えるのはなぜ? ジグレール教授がわが子に語る飢餓の真実	合同出版		0
ぼくらはみんな生きている 都市動物観察記	講談社		0
箱船にのった鳥たち ある野鳥病院の物語	福音館書店		0
ジュニア環境調査隊 動物を守ろう	丸善		0
衣食住にみる日本人の歴史(全3巻)	あすなろ書房	0	0
いま、地球に何がおこっているの?(全5巻)	文研出版	0	0
いま、地球の子どもたちは2015年への伝言(全5巻)	新日本出版	0	0
子どもの権利条約で考える世界の子どもたち -25人の物語- (全5巻)	すずき出版	0	0

「言葉の意味を追って」関連図書一覧

「言葉の意味を追って」 関連図書一覧 ■ 書名	出版社	日野上	町立
<u> </u>	<u> </u>	□≛७┸	<u> </u>
1. 住まいとくらしの100年	110011		
4. 社会生活の100年			0
5. 乗り物と交通の100年 6. 産業の100年			
0. 産業の100年 写真でみる20世紀の日本	PHP研究所		
2. 科学技術の100年	וווטכופי וווי		0
4. のりものと交通の100年			
社会科はじめて大百科	ポプラ社		
2. 町のなか 4. 情報をつたえる			0
5. のりものと交通			
ゾクゾクモノの歴史事典	ゆまに書房		
2. すむの巻	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
8. のるの巻			0
9. みる・よむの巻 10. きくの巻			
日本の歴史 明治維新から現代(全8巻)	 ポプラ社		
日本の歴史 明石権制がら現代(主)を	/N / / / / / / / / / / / / / / / / / /		0
図解 むかしのくらし(全7巻)	学研		0
総合百科事典ポプラディア	ポプラ社	0	0
12. 学習資料集		U	
ジュニア地図 こども日本の旅	平凡社		0
新図解わたしたちの日本地理(全8巻) 日本の国土	学研		0
日本の地理 朝日ジュニアブック	朝日新聞社		0
調べようグラフでみる日本の産業	小峰書店		
これまでとこれから(全10巻)			
7. 運輸と自動車工業 8. 商業と通信			0
10. 環境産業と医療・福祉			
社会科事典(全10巻)	国土社		0
 マンガとイラストでわかる子どものためのエネルギー	 PHP研究所		
ブック			0
日本の子どもたちが地球を救う50の方法	ブロンズ新社		0
21世紀の子どもたちが地球を救う50の方法	ブロンズ新社		0
100年後の地球	エネルギーフォー		0
The tit the transfer of the tr	ラム		
砂漠化する地球の診断 	小峰書店		0
おとうさんと行く地球大冒険 4 未来の地球へ出発	岩波書店		0
			0
			0